

日時：令和5年6月1日（木）午後7時～

場所：有終西小学校ランチルーム

<全体説明>

審議会に通学区域を審議してもらうにあたって、保護者の皆様からいろいろな意見を聞かせていただきたいと思う。

まずはグループで意見を出し合ってもらい、その後グループごとに発表していただき、意見交換をしていきたい。議論を深められたらと考える。意見交換のテーマは「有終西小学校の卒業生の中学校通学区域について」でお願いする。

<グループ意見交換>

<グループ意見発表>

【1グループ】

アンケート結果を見た上での話も含めてだが、校区が一つになるということで良い面としては、中学1年生の今の時期は有終西小学校の卒業生が全員一緒に同じ中学校に行けて寂しくないということ。有終西小学校は少ない人数なのに、中学校が2つに分かれているので寂しいという話も聞く。ただ、友だちと同じ中学校に行きたいということだけで通学区域の見直しをするのはどうだろうか。

アンケートを見ても、校区が反対側の方は反対すると思う。全員が陽明中学校に行くと決まったら開成中学校側の方は反対するし、逆に開成中学校に行くと決まったら陽明中学校側の方が反対すると思う。結局、どちらかに決まったらその反対側の校区の方は反対する結果になると思う。

私の個人的な意見で言うと、アンケートを見ていて現段階で見直しを考えるのは難しいと思う。

中学生になった卒業生たちの今の気持ちを聞いてみたいという意見も出てくるのではないかなと思う。

【2グループ】

全員が陽明中学校に行くと決まったら開成中学校側の方は反対するし、逆に開成中学校に行くと決まったら陽明中学校側の方が反対すると思う。

結局、どちらかに決めるのは難しいと思う。

西小学校の児童はスクールバスではなく歩いて登校している。できるのであれば、今の校区のままで選択制もできるとして、違う校区を選んだとしても、自分の責任でスクールバスには乗らずに自分自身の責任で送迎もする、という形がとれると良いかなと思う。

<質疑応答>

【保護者】

確認だが、中学校区を一つにすると決まってい動いているのではないかと勘違いされている人もいるので、今はまだ決まっていないと否定したいことが一点。二点目は、今の校区のままでいくという結論と、このように変更するという結論と、どちらの可能性もあるという確認をしたい。

【教育長】

校区については、今はどのような結論にもなっていない。

アンケートの結果と一緒に教育委員会で検討をお願いしたいということだった。教育委員は全部で5人だが、5人で決められることではないので、通学区域審議会で検討してもらうことになった。

アンケートを見させてもらって本当にいろんな意見があるということは分かっている。その上で、今後どうしていくかということ。これから5年後、10年後を考えていかなければいけない。いろんな角度から検討していかなければいけないと思っている。

【保護者】

開成中学校、陽明中学校の基本的な校区だけを決めて、選択制として自由にどちらか選べるという可能性はあるのか。

もちろん、学校への送迎は自分ですることを前提に、選択できる可能性があるか聞きたい。

【教育長】

自由選択制をとっているところも、東京にはいくつかあると聞いている。

地域の環境にもよるとは思う。

極論から言えば、そういう可能性もゼロではない。

ただ、進学先がどこでも良いということになると、子どもや保護者を不必要に悩ませてしまうのではないかと懸念もある。

【保護者】

もし例えば審議会や教育委員会で、西小学校の児童は全員開成中学校に行くことになったとして、陽明中学校に近い家の子は陽明中学校に行きたいと希望したら認めてもらえるのか。

【教育長】

陽明中学校に近い家の子が開成中学校に行くことになったら通学距離が遠くなるし、またそういう想定をされて家を建てている人もいるかもしれない。

どういう形が良いかいろいろと考えないといけない。

そして、これならみんなが納得できるという結論が出ると良いと考えている。

5年間、学校再編をやってきたが、市民のみなさん保護者のみなさん一緒に考えてきた。市外の方が助けてくれるわけではない。大野市のことは大野市で知恵を絞って考えていかなければいけない。

令和6年度に間に合うように慎重に丁寧に、かつスピード感をもって考えていきたい。

【事務局】

いただいているアンケートと本日いただいた意見を持って、審議会に通学区域の検討をお願いしていきたい。